

令和6年度埼玉県立特別支援学校高等部職業学科及び高等部分校
入学選考に係る問題作成要領

各検査の問題作成の観点等は以下のとおりとする。

1 学力検査の観点

学力検査では、「国語」及び「数学」の2教科を実施し、受検者の社会生活や職業生活に必要な基礎学力を把握する。

なお、出題にあたっては、小学校学習指導要領の国語及び算数の第1学年から第4学年までの範囲とし、文部科学省著作教科書特別支援学校中学部の国語及び数学（☆☆☆☆、☆☆☆☆）を参考とする。

(1) 「国語」

ア 言語についての知識・理解

文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解できる（書写は除く）。

イ 日常生活に必要な基本的な知識・理解

社会生活の中で日常的に使用されている外来語、ローマ字、標識、看板、広告、掲示などを正しく理解できる。

ウ 文章についての知識・理解

文章内容の要点を理解し、順序立てた文章表現や漢字の使い方などに気をつけて要領よく書くことができる。

(2) 「数学」

ア 数学的な考え方

知識と技能の習得や活用を通して数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しを持ち道筋を立てて考えることができる。

イ 数量や図形についての表現・理解

整数や小数などの簡単な計算ができ、それらを目的に応じ適切に活用したり、簡単な量を測定したりできる。また、基本的な図形を調べたり、数量の関係などを表したり読んだりすることができる。

ウ 数量や図形についての知識・理解

計算の意味や性質及び小数の概念、重さなどの概念、簡単な図形の概念や性質、資料の整理の仕方などを理解し活用できる。

エ 日常生活に必要な基本的な知識・理解

生活の中で使用する時計や暦を理解し、時間や日数の計算をすることができる。また、金銭処理の仕方を理解し活用できる。

2 運動能力検査の観点

運動能力検査では、受検者の社会生活や職業生活に必要な体力を総合的に把握する。

- (1) 体力の「行動を起こす力」「行動を持続する力」「行動を調整する力」を把握する。
- (2) 集団の中で協調性や参加意識、運動を行う際の安全に対する意識を把握する。

3 作業能力検査の観点

作業能力検査では、受検者の社会生活や職業生活に必要な作業能力を総合的に把握する。

(1) 作業に対する態度

作業に対する意欲や集中力がある。また、責任を持って作業に取り組むことができる。

(2) 作業活動に対する心構え

作業活動に対する指示や注意に対して耳を傾け取り組むことができる。

(3) 作業に対する知識・技能

生産的作業に対する確実性と能率、集中力、持続力、安全に対する注意力が備わっている。

また、失敗の処理や用具の扱い等について適切に対応しようとする態度がみられるとともに、作業の準備や後片付けなどができる。

4 運動能力検査及び作業能力検査における感染症対策等は以下のとおりとする。

- (1) 受検者同士及び検査員が接触をしない問題になるよう配慮する。
- (2) 道具を共有する際は、消毒等を行う。また、その時間も配慮した問題とする。
- (3) 集団で検査を行う際は、検査場が密にならないよう配慮した問題とする。